令和7年度 運営方針

昨年度介護報酬が見直され、1,59%引き上げられ、居室利用料も1日当たり60円の引き上げが決定し、年間約500万円の増収が見込まれ、更に給与改善加算も引き上げられ、給与水準が低いとメディアの過大な煽りを受けて人材確保が一段と厳しさを増してきている中、幅広いリクルート策を講じなければならなくなってきた。

そこで、昨年度は60歳以上の方3名を介護及び看護助手として採用し、今年度8月からミャンマー人2名の特定技能実習生と契約し、さらに新しい取り組みとして、西部養護学校の卒業生を1名介護助手として採用、更に、介護福祉士専門学校の新卒1名の計4名の採用を決定しました。これらの取り組みによって、人材不足の改善に努めていきます。

昨年度は、4年ぶりに黒字となり、借入金の返済のめどが立ってきております。主な要因として入所並びにショートステイの稼働率が98%、80%と安定したことが最大の要因であり、また、懸案事項の長期入院者への対応も、松井病院の院長先生との協議が功を奏し大幅に改善しております。

今年度以降においても、安定した経営をするにあたり、昨年度実績を踏まえ、更なる努力を重ね新規加算の取得や、まだとれていない加算の掘り起こしと、職員の資質向上を図り、地域の皆さんから信頼される法人、利用したくなる施設づくりに邁進したいと思います。役職員の皆様のご協力をお願いします。